

B) 場所を限定して局所的な防除を進める種類

コゴメミズ

イラクサ科 *Pilea microphylla*

原産地：南アメリカ

生態系被害防止外来種リスト：重点対策外来種

特徴

小型の一年生～二年生草本。奄美大島や沖縄島中のコンクリートの隙間などで普通に目にする植物。通年見られる。

葉：大型と小型の2型があり、大きいもので長さ6mmほど。多汁質。

花：葉の根元に直径1mmほどの小さな花をつける。

繁殖：種子繁殖により分布を拡大していると考えられる。



影響：同じような環境に生育する在来種との競合が懸念される。

侵入状況：低地部から森林域の林道沿いなど奄美大島全体で侵入が確認されている。陰湿な環境でも生育することから、コアエリアの林内などへの侵入が懸念される。

対策状況：未だ具体的な対策は実施できていない。

防除のコツ：根から丁寧に取り除く。付近の地面に種子が埋まっていることが考えられるため、定期的な駆除作業が求められる。